次期申請・審査システム
【都道府県・本省・厚生局向け】
次期システム端末設定手順書
本番用

第 1.0 版　2014.2.28

日本ユニシス株式会社

はじめに

前提

本書では、都道府県・本省・厚生局が使用する次期申請・審査システムクライアント端末の設定手順について説明します。

対象読者は都道府県・本省・厚生局の端末管理者です。端末を設定する際に参照します。

現在使用中の都道府県・本省・厚生局の医薬品等申請・審査システムクライアント端末に対し、本書に記載した設定変更を行う事で現行システムおよび、次期システムの両方が使用可能になります。

設定対象

こちらの手順書は次期申請・審査システム本番稼動用のものになりますが、実運用テスト工程の準備期間中に実施した端末設定手順と同じものです。既に設定済みの端末に対して再設定する必要はありません。未設定端末全てに対し、本手順書を参考に設定を行ってください。

平成26年3月末までに設定していただきますよう、よろしくお願いします。

サポート体制

サポート体制は以下の通りです。

- 電話応対時間：10:00～18:00（平成26年3月中の平日のみ）
  お問い合わせ先：050-3132-7794
  担当者：日本ユニシス株式会社　次期申請・審査システム　端末準備担当

  ※お問い合わせの内容により、リモートデスクトップ接続させていただく場合がございます。
  ※タイミングにより、通話中の可能性がございます。
  申し訳ございませんが、再度お掛け直していただけますでしょうか。

- 電話応対できない時間帯につきましては、以下メールアドレスにお問い合わせください。
  メールアドレス：yakuji-pre@ml.unisys.co.jp
  メール件名：【次期システム開発】本番用端末準備について

その他注意事項

本書に記載の手順が全台完了しましたら、設定完了の旨をご連絡いただけますでしょうか。
（詳細は手順 4.6 に記載）

改訂履歴

Ver	更新日付	改訂個所	内容
1.0	2014/2/28	（初版）	新規作成

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
その他、本書に記載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目　　次

1.　クライアント端末環境要件 1

1.1.　クライアント端末のソフトウェア要件 1

2.　ソフトウェアのインストール手順 2

2.1.　前提条件 2
2.2.　作業前のシステムバックアップ 2
2.3.　現行ドメインユーザのマイドキュメントコピー 2
2.3.1.　「C:¥temp」の存在確認 3
2.3.2.　現行ドメインユーザのファイルコピー 4
2.4.　クライアント端末 OS の 32 ビット／64 ビット確認 7
2.5.　Microsoft .NET Framework 4 8
2.6.　Microsoft Silverlight 5 ランタイム 9
2.7.　医薬品等電子申請ソフト 10

3.　次期申請・審査システム用セットアップ 14

3.1.　医薬品等電子申請ソフトの追加設定 14
3.2.　Silverlight ブラウザ内実行権限の付与 14
3.3.　DNS サーバの設定変更 15
3.4.　次期ドメイン参加 17

4.　次期申請・審査システム疎通確認 20

4.1.　次期ドメインユーザのログオン 20
4.2.　次期申請・審査システム疎通確認 20
4.3.　現行ドメインユーザのマイドキュメント復元 22
4.4.　プリンター設定の確認 25
4.5.　現行システムの起動確認 26
4.6.　設定完了のご連絡 29

1. クライアント端末環境要件

1.1. クライアント端末のソフトウェア要件

クライアント端末のソフトウェア要件は下記の通りです。

表 1-1 ソフトウェア要件一覧

NO	カテゴリ	バージョン	インストール要否
1	OS	Windows XP Professional SP3 ※1 Windows 7 Professional 32bit Windows 7 Professional 64bit Windows 7 Professional ServicePack1 32bit Windows 7 Professional ServicePack1 64bit	インストール済
2	ブラウザ	Internet Explorer 8 Internet Explorer 9 Internet Explorer 10	インストール済
3	ウィルス対策ソフト	Symantec Endpoint Protection	インストール済
4	バックアップソフト	Norton Ghost 15.0	インストール済
5	オフィス	Microsoft Office 2007 Professional SP2 Microsoft Office 2007 Professional SP3	インストール済
6	医薬品等電子申請ソフト	医薬品等電子申請ソフト	インストールが必要の場合あり ⇒2.7 に手順を記載
7	.NET Framework	Microsoft .NET Framework 4	インストールが必要 ⇒2.5 に手順を記載
8	Silverlight	Microsoft Silverlight 5 ランタイム	インストールが必要 ⇒2.6 に手順を記載

※1 本書は Windows7 のインストール手順を記載しています。

WindowsXP の場合、画面イメージが異なる点がございますが、Windows7 32bit と同様の手順で設定作業を実施ください。ご不明な点は、お電話でお尋ねください。

2. ソフトウェアのインストール手順

2.1. 前提条件

ソフトウェアのインストール作業はクライアント端末の管理者ユーザで実行する必要があります。

Windows ログオン画面で以下のユーザ情報を入力し、管理者ユーザでログオンしてください。

ユーザ ID　.¥administrator

パスワード　********　（実運用テスト工程の準備説明会時にお伝えしたものです）

※こちらのユーザ情報でログオンできない端末については、端末の導入業者にパスワードをお尋ねください。

※クライアント端末が WindowsXP の場合、ユーザ ID には「.¥administrator」ではなく、「コンピューター名¥administrator」を入力してください。コンピューター名の調べ方については、4.6 設定完了のご連絡をご参照ください。（入力例： R131C121¥administrator）

2.2. 作業前のシステムバックアップ

万が一端末が正常動作しなくなってしまった場合に備え、作業前にシステムバックアップを取得します。

手順については、CD ドライブ「都道府県・本省・厚生局端末セットアップ用 CD-ROM」以下、「2.2_作業前のシステムバックアップ」の PDF ファイル「3. バックアップ・リストア手順書 ver1.2.pdf」をダブルクリックして、「2. バックアップ手順」を参照してください。

※クライアント端末のデータ量によって異なりますが、バックアップ処理に 30 分程度掛かります。

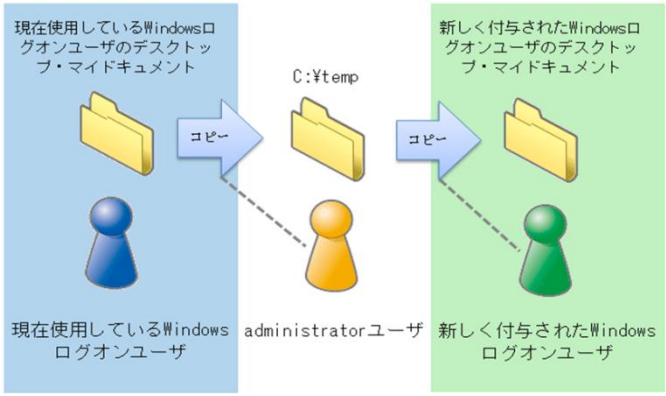
※バックアップには外付け USB HDD が必要になります。端末導入時の付属機器をご使用ください。

※外付け USB HDD が見つからず、バックアップが取得できない場合でも、以降の作業を実施する事はできますが、万が一端末が正常動作しなくなってしまった場合、端末を初期化することになります。ご了承ください。

2.3. 現行ドメインユーザのマイドキュメントコピー

本書の手順を実施すると、現在使用している Windows ログオンユーザでデスクトップに配置しているファイルやショートカット、マイドキュメント以下のファイルが参照できなくなってしまいます。

参照できなくなると問題となるファイルについては、クライアント端末の「C:¥temp」フォルダー以下にコピーすることで退避し、次期ドメインに参加後、新しい Windows ログオンユーザでログオンした後「C:¥temp」より、デスクトップ、マイドキュメントにファイルコピーして復元してください。



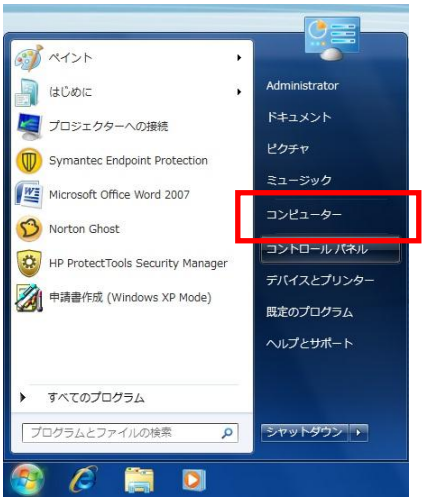
現在使用しているクライアント端末の Windows ログオンユーザによって、コピーするデスクトップ、マイドキュメントが異なります。administrator、FDUser など、クライアント端末のローカルユーザでログオンしている場合はケース①、医薬品等・新申請審査システムに接続する時のユーザと同じものを使用し、個人個人で異なるユーザを使用しているケース②になります。

	現在使用しているクライアント端末の Windows ログオンユーザ	デスクトップ、マイドキュメントのコピーと復元について	設定変更後に使用するクライアント端末の Windows ログオンユーザ
現在のご利用ケース①	administrator、FDUser など、クライアント端末のローカルユーザでログオンし、複数のメンバーで共通利用しているケース ログオン先：コンピュータ名 （例：R131C121）	administrator、FDUser など、共通利用しているユーザのデスクトップ、マイドキュメントの内、必要なものをコピーし、復元してください。	新しく付与された次期申請・審査システム実運用テスト用のユーザを共通利用し、ログオンしてください。 （本番稼動後は個人毎に異なる新しいユーザが割り当てられます）
現在のご利用ケース②	医薬品等・新申請審査システムに接続する時のユーザと同じものを使用し、個人個人で異なるユーザを使用しているケース ログオン先：FDSHINSEI	個人個人のユーザのデスクトップ、マイドキュメントの内、必要なものをコピーし、復元してください。	

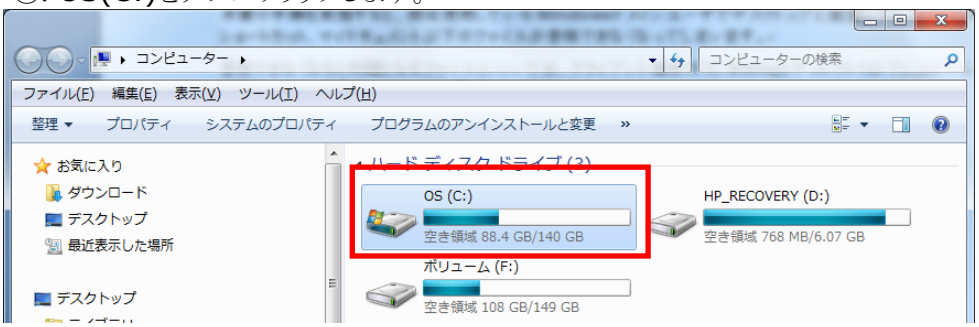
手順は以下の通りです。

2.3.1. 「C:¥temp」の存在確認

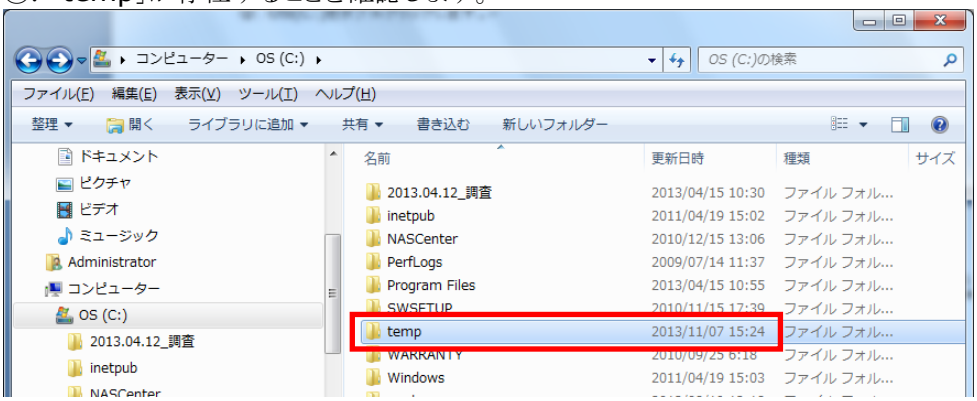
①. スタートメニューからコンピューターを開きます。



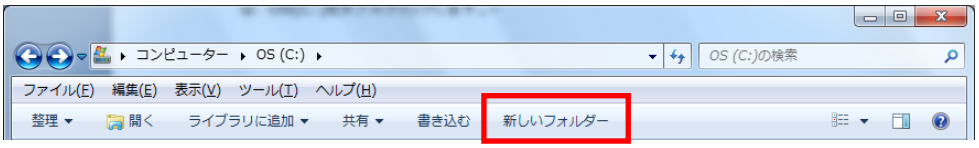
②. OS(C:)をダブルクリックします。



③.「temp」が存在することを確認します。



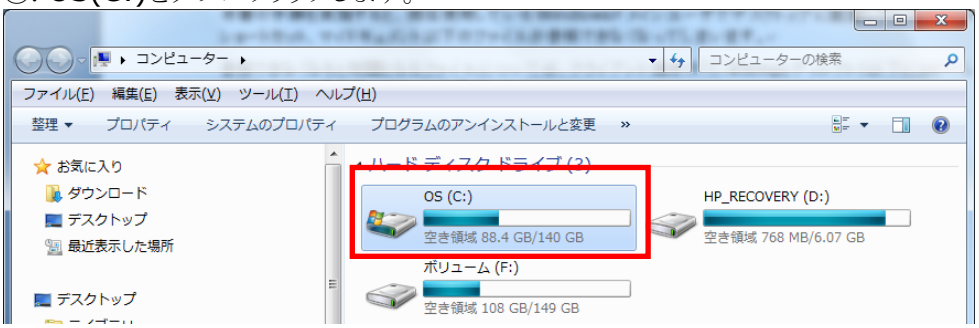
「temp」が存在しない場合、「新しいフォルダー」より「temp」を作成してください。



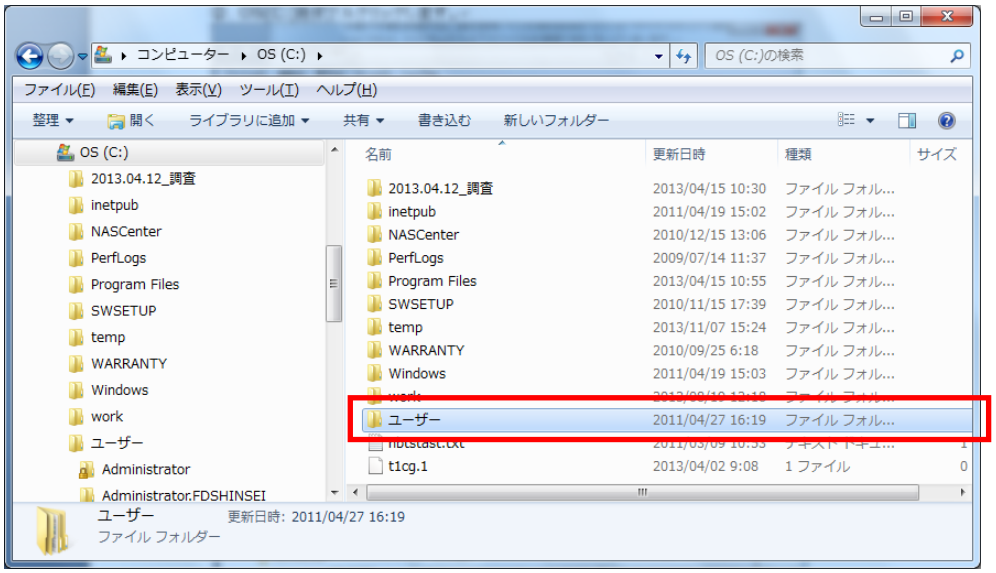
2.3.2. 現行ドメインユーザのファイルコピー

①. スタートメニューからコンピューターを開きます。

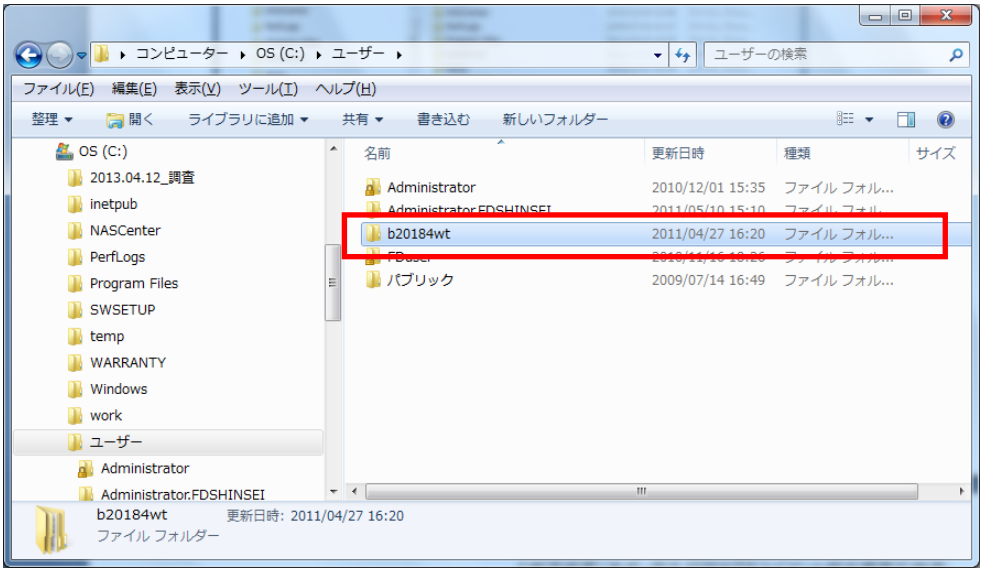
②. OS(C:)をダブルクリックします。



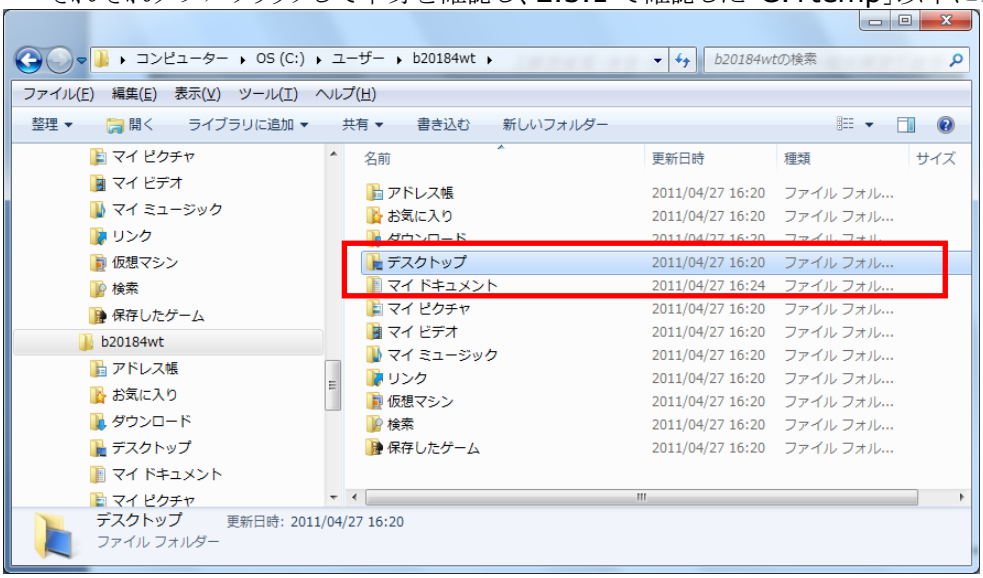
③.「ユーザー」をダブルクリックします。



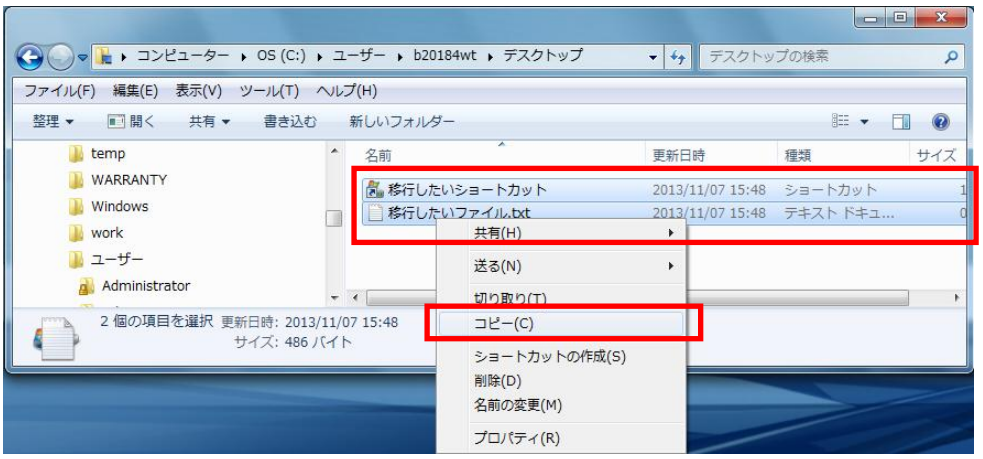
④. 現在ドメインユーザを選択し、ダブルクリックします。
画像は例で「b20184wt」を選択しています。



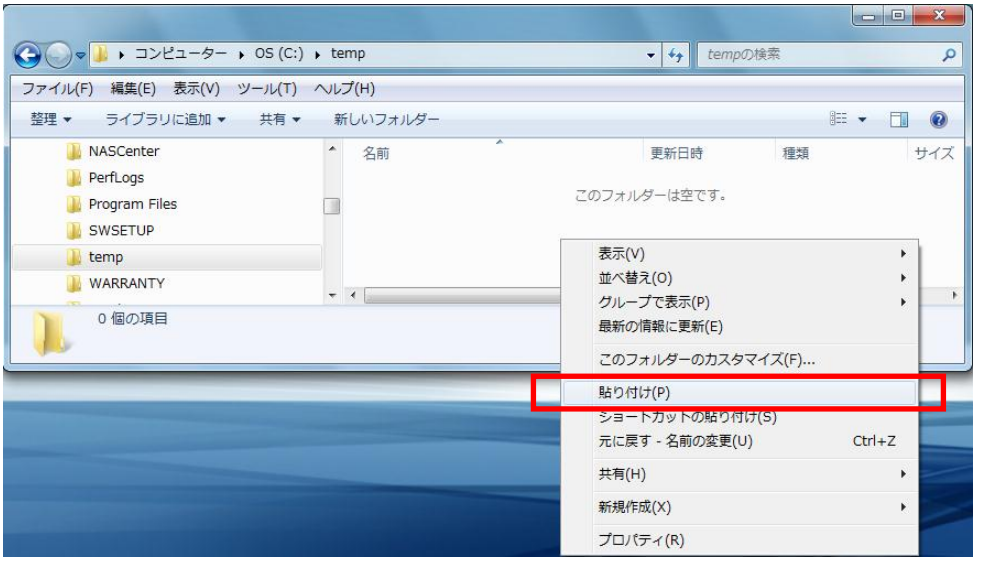
⑤.「デスクトップ」、「マイ ドキュメント」以下に、現在使用しているファイルやショートカットが格納されています。
それぞれダブルクリックして中身を確認し、2.3.1 で確認した「C:¥temp」以下にファイルをコピーします。



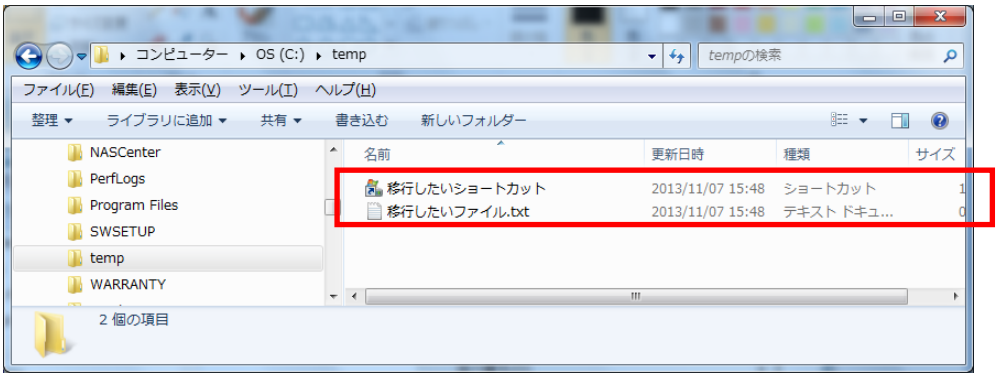
コピーしたいファイルを選択し、右クリックして「コピー」を選択します。



2.3.1 で確認した「C:¥temp」以下で右クリックし、「貼り付け」を選択します。

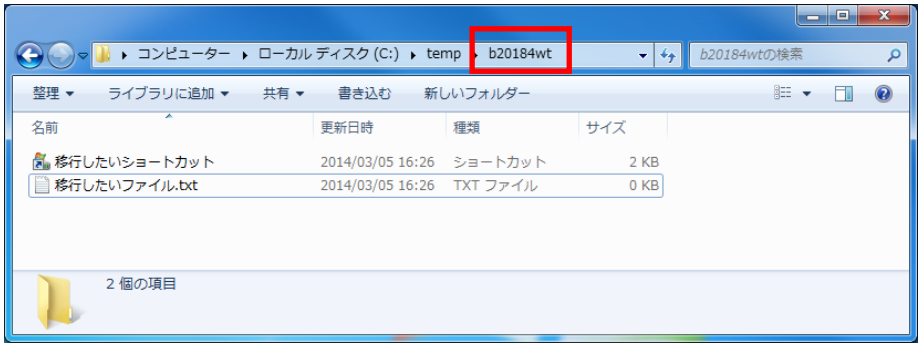


「C:¥temp」以下にファイルがコピーされます。



ファイルの復元については、「4.3 現行ドメインユーザのマイドキュメント復元」に記述します。

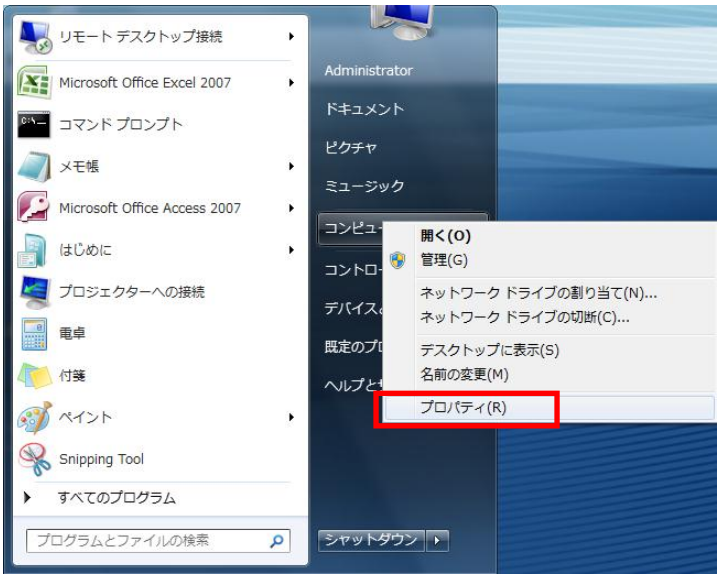
複数ユーザのマイドキュメントとデスクトップをコピーする場合は、「C:¥temp」以下にユーザ名のフォルダーを作成し、その中にコピーすると、ユーザ毎のファイル区別ができます。



2.4. クライアント端末 OS の 32 ビット／64 ビット確認

クライアント端末の OS が 32 ビットか 64 ビットか確認します。

①. スタートメニューからコンピューターを右クリックして、プロパティを開きます。



②. システムの種類を確認します。

「32 ビット オペレーティング システム」であれば、32 ビットです。

「64 ビット オペレーティング システム」であれば、64 ビットです。

OS が WindowsXP であれば、32 ビットです。

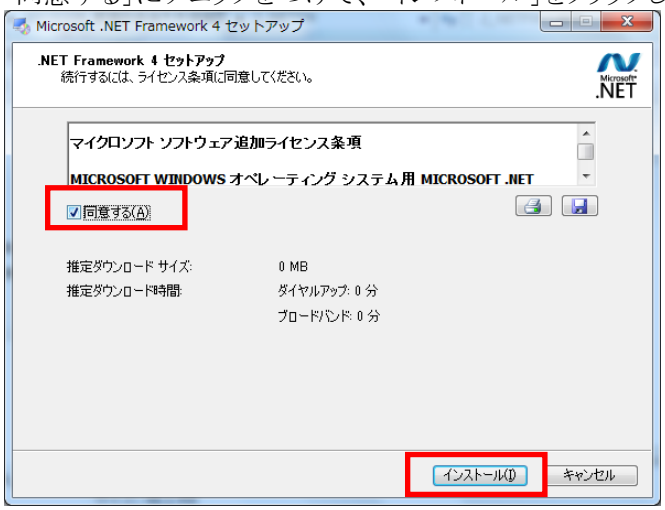
※32 ビット、64 ビットで以降のインストール手順に異なる個所があります。必ず確認してください。

2.5. Microsoft .NET Framework 4

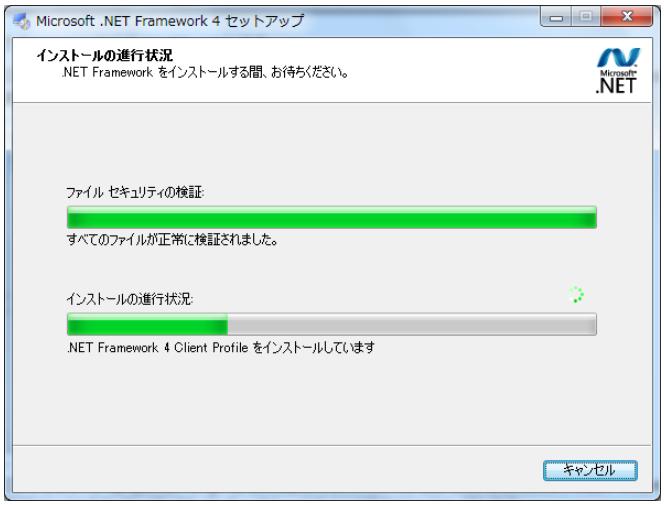
.NET Framework4 をインストールします。

①. CD ドライブ「都道府県・本省・厚生局端末セットアップ用 CD-ROM」以下、「2.5_Microsoft .NET Framework 4」の実行ファイル「dotNetFx40_Full_x86_x64.exe」をダブルクリックします。

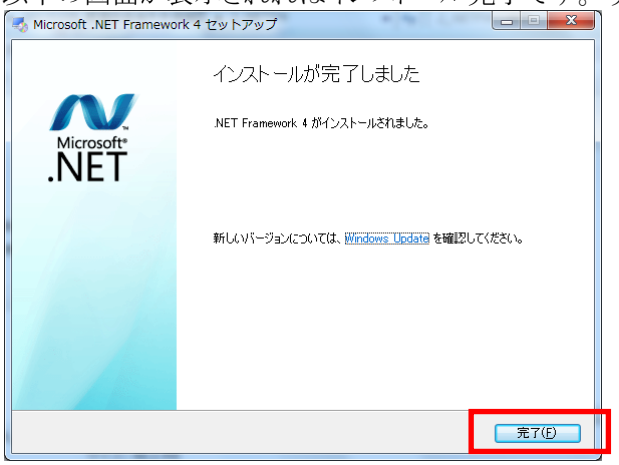
「同意する」にチェックをつけて、「インストール」をクリックします。



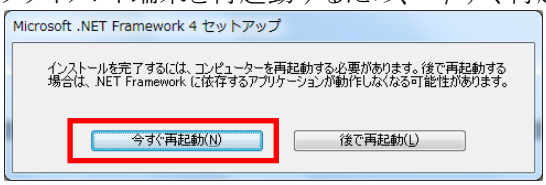
②. インストールが開始されるのでしばらく待ちます。



③. 以下の画面が表示されればインストール完了です。「完了」をクリックします。



④. クライアント端末を再起動するため、「今すぐ再起動」をクリックします。



2.6. Microsoft Silverlight 5 ランタイム

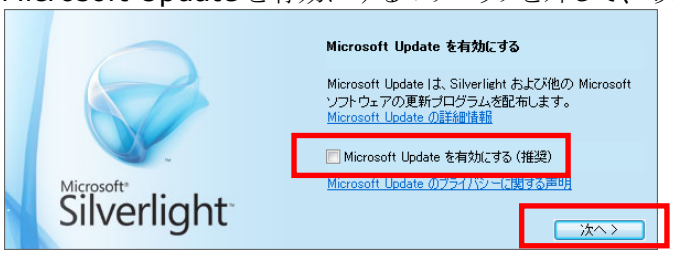
Silverlight 5 ランタイムをインストールします。

①. CD ドライブ「都道府県・本省・厚生局端末セットアップ用 CD-ROM」以下、「2.6_Microsoft Silverlight 5」、「XX ビット」の実行ファイルをダブルクリックします。
32 ビットの場合、実行ファイルは「Silverlight.exe」です。
64 ビットの場合、実行ファイルは「Silverlight_x64.exe」です。

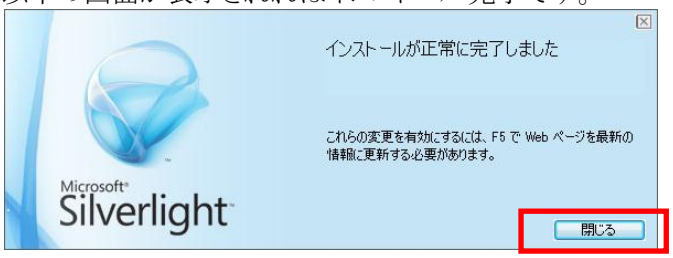
32 ビット／64 ビットにより、設定方法が異なります

「今すぐインストール」をクリックします。

②. Microsoft Update を有効にするのチェックを外して、「次へ」をクリックします。



③. 以下の画面が表示されればインストール完了です。



2.7. 医薬品等電子申請ソフト

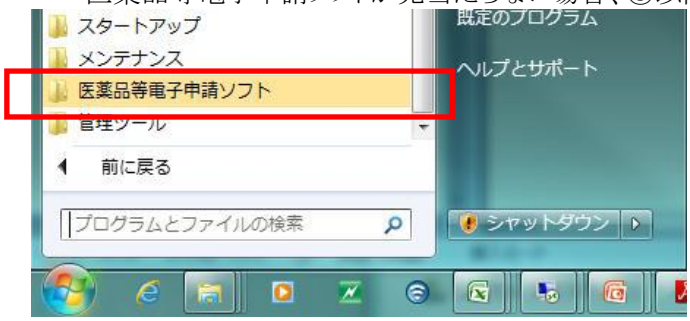
医薬品等電子申請ソフトがクライアント端末にインストールされていることを確認します。

現行システムでは「Windows XP-Mode」の中にインストールされた、医薬品等電子申請ソフトを使用していましたが、現在公開されている最新の医薬品等電子申請ソフトは、Windows7 に対応しています。

次期申請・審査システムは Windows7 の OS 自体にインストールされた医薬品等電子申請ソフトと連動して、システムを操作いたしますので、Windows7 の OS 内に医薬品等電子申請ソフトがインストールされていることを確認します。

①. スタートメニューからすべてのプログラムを開きます。

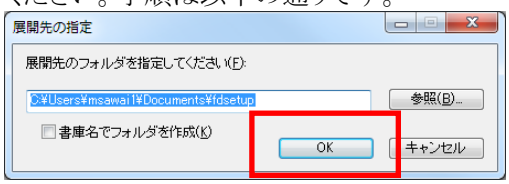
②. 医薬品等電子申請ソフトが存在していることを確認します。
医薬品等電子申請ソフトが見当たらない場合、③以降のインストール作業を実施します。

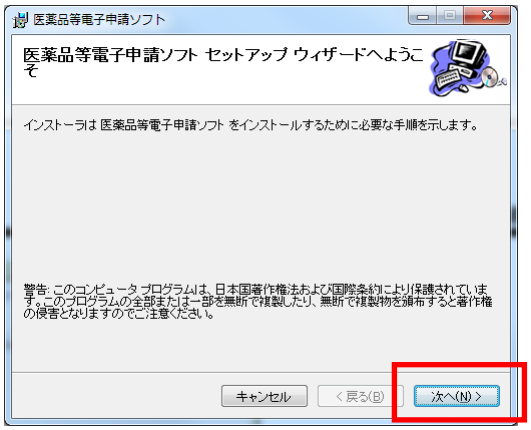


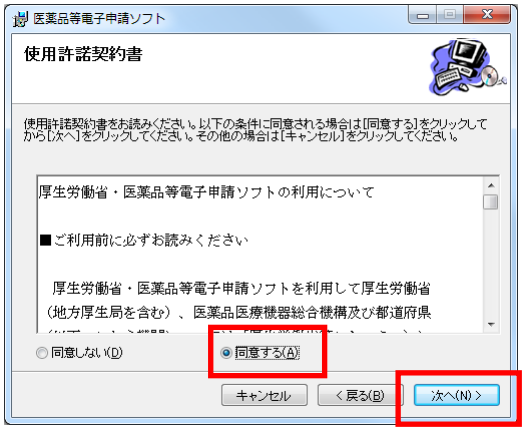
③. インターネットが接続できる端末で、厚生労働省のホームページにアクセスし、医薬品等電子申請ソフトをダウンロードし、外付け USB HDD 等を利用して、インストールファイル（install201304_full.exe）をセットアップ対象端末のデスクトップ等にコピーします。
CD ドライブ「都道府県・本省・厚生局端末セットアップ用 CD-ROM」以下、「2.7_医薬品等電子申請ソフト」にもインストールファイル（install201304_full.exe）が含まれています。

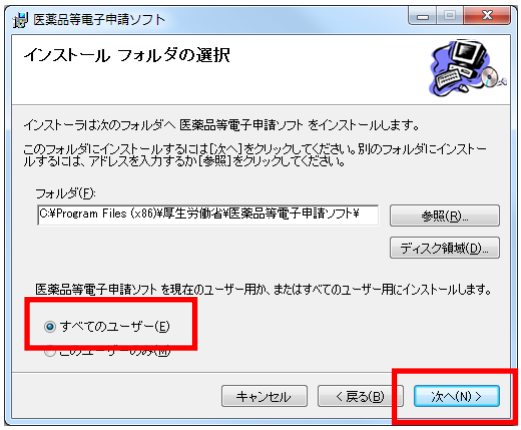
ダウンロード URL
http://web.fd-shinsei.go.jp/download/software/

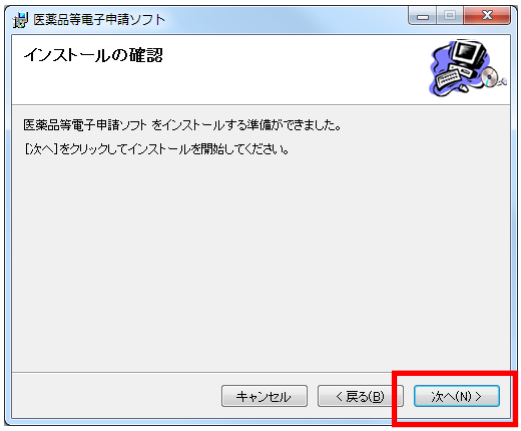
④. デスクトップ等にコピーした後は、「install201304_full.exe」をダブルクリックしてインストールを開始してください。手順は以下の通りです。

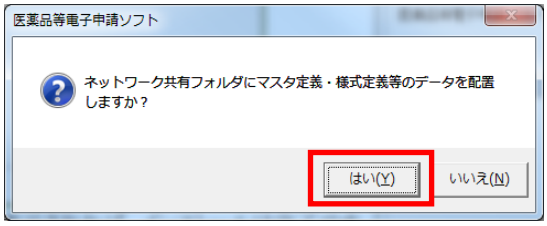


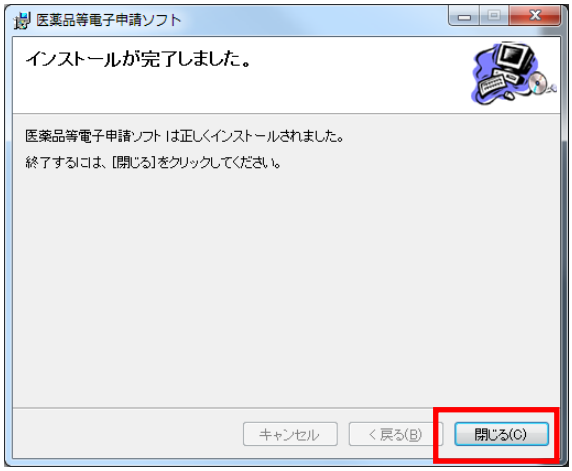

医薬品等電子申請ソフト
医薬品等電子申請ソフト セットアップ ウィザードへようこそ
インストーラは 医薬品等電子申請ソフト をインストールするために必要な手順を示します。
警告: このコンピュータ プログラムは、日本国著作権法および国際条約により保護されています。このプログラムの全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると著作権の侵害となりますのでご注意ください。
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >


医薬品等電子申請ソフト
使用許諾契約書
使用許諾契約書をお読みください。以下の条件に同意される場合は[同意する]をクリックしてから[次へ]をクリックしてください。その他の場合は[キャンセル]をクリックしてください。
厚生労働省・医薬品等電子申請ソフトの利用について
■ご利用前に必ずお読みください
厚生労働省・医薬品等電子申請ソフトを利用して厚生労働省
(地方厚生局を含む)、医薬品医療機器総合機構及び都道府県
同意しない(D)
同意する(A)
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >


医薬品等電子申請ソフト
インストール フォルダの選択
インストーラは次のフォルダへ 医薬品等電子申請ソフト をインストールします。
このフォルダにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別のフォルダにインストールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。
フォルダ(F):
C:¥Program Files (x86)¥厚生労働省¥医薬品等電子申請ソフト¥
参照(R)...
ディスク領域(D)...
医薬品等電子申請ソフト を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインストールします。
すべてのユーザー(E)
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >


医薬品等電子申請ソフト
インストールの確認
医薬品等電子申請ソフト をインストールする準備ができました。
[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >





こちらの画面が表示されれば、インストールは完了です。

3. 次期申請・審査システム用セットアップ

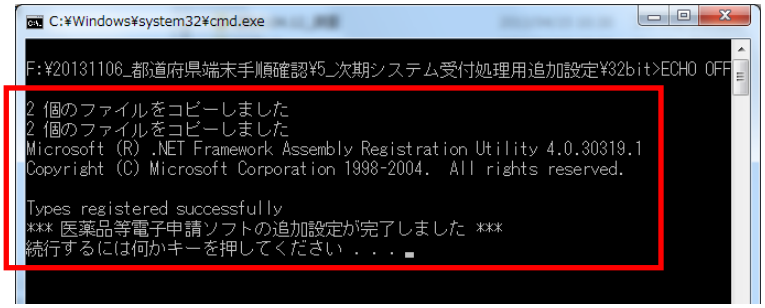
3.1. 医薬品等電子申請ソフトの追加設定

医薬品等電子申請ソフトの追加設定を行います。

⑤. CD ドライブ「都道府県・本省・厚生局端末セットアップ用 CD-ROM」以下、「3.1_医薬品等電子申請ソフトの追加設定」、「XX ビット」の実行ファイルをダブルクリックします。
32 ビットの場合、実行ファイルは「install_32bit.bat」です。
64 ビットの場合、実行ファイルは「install_64bit.bat」です。

32 ビット／64 ビットにより、設定手順が異なります

以下の画面が表示されればファイル配置完了です。
Enter キーを押して画面を閉じてください。



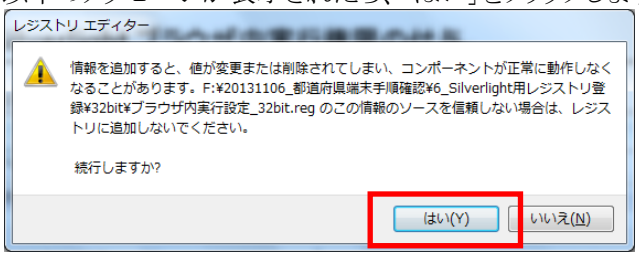
3.2. Silverlight ブラウザ内実行権限の付与

Silverlight ブラウザ内実行権限の付与を行います。

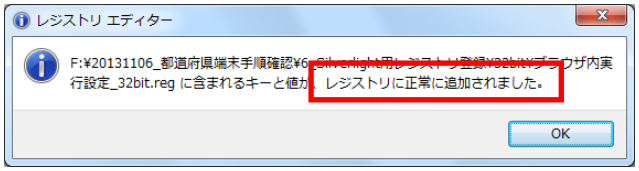
①. CD ドライブ「都道府県・本省・厚生局端末セットアップ用 CD-ROM」以下、「3.2_Silverlight ブラウザ内実行権限の付与」、「XX ビット」の登録エントリファイルをダブルクリックします。
32 ビットの場合、実行ファイルは「ブラウザ内実行設定_32bit.reg」です。
64 ビットの場合、実行ファイルは「ブラウザ内実行設定_64bit.reg」です。

32 ビット／64 ビットにより、設定手順が異なります

以下のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



②. レジストリに正常に追加されました。のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

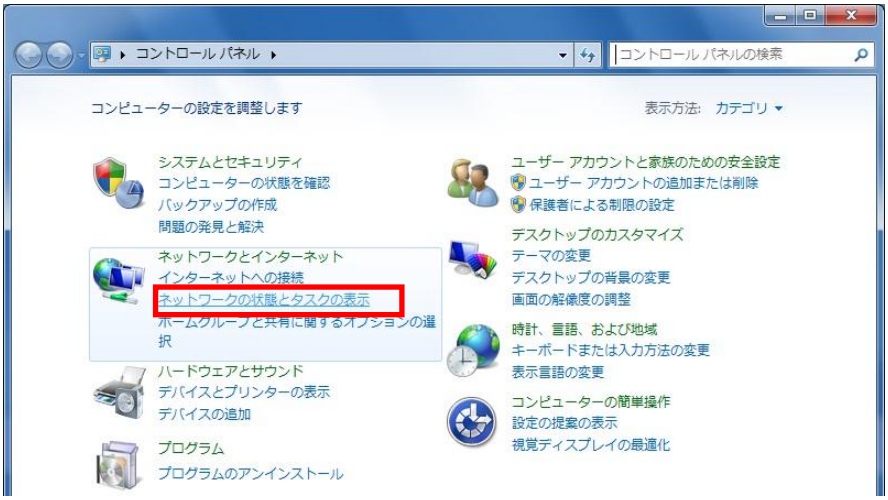


3.3. DNS サーバの設定変更

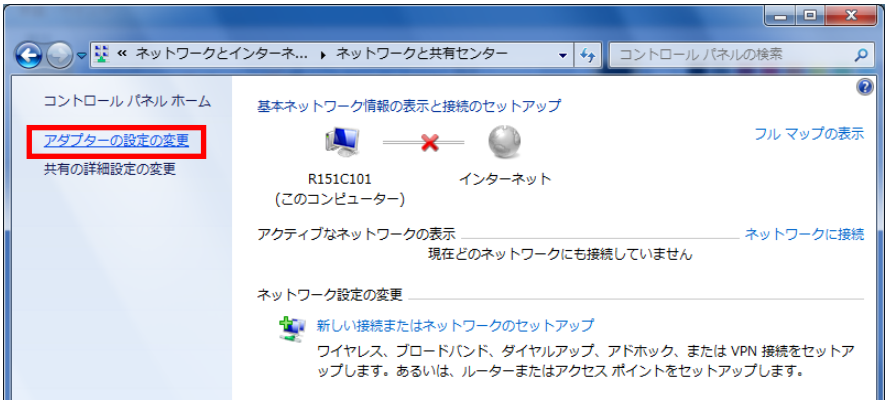
DNS サーバの設定変更を行います。

①. スタートメニューからコントロールパネルを開きます。

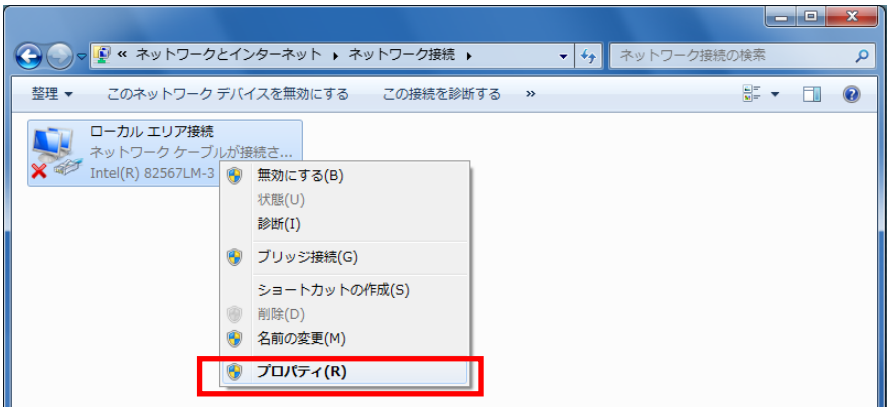
②. コントロールパネルメニューで、「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



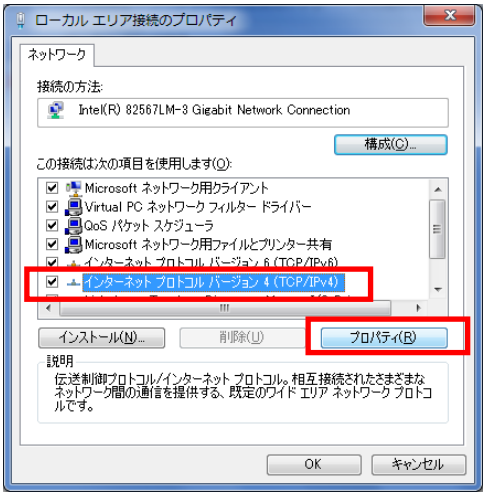
③. アダプターの設定の変更メニューをクリックします。



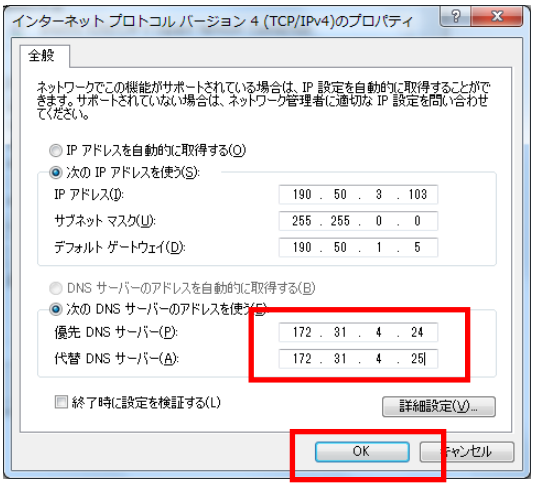
④. ローカルエリア接続を右クリックし、プロパティを開きます。



⑤. 以下画面で、「インターネットプロトコルバージョン 4」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



⑥. 以下の項目を設定し、「OK」をクリックします。
・優先 DNS サーバ:172.31.4.24
・代替 DNS サーバ:172.31.4.25

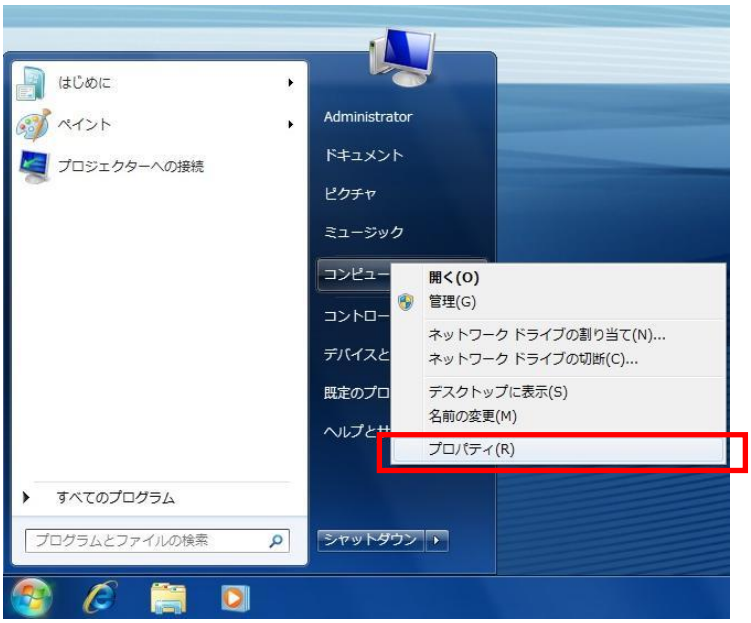


※優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバ以外の値は変更しないでください。

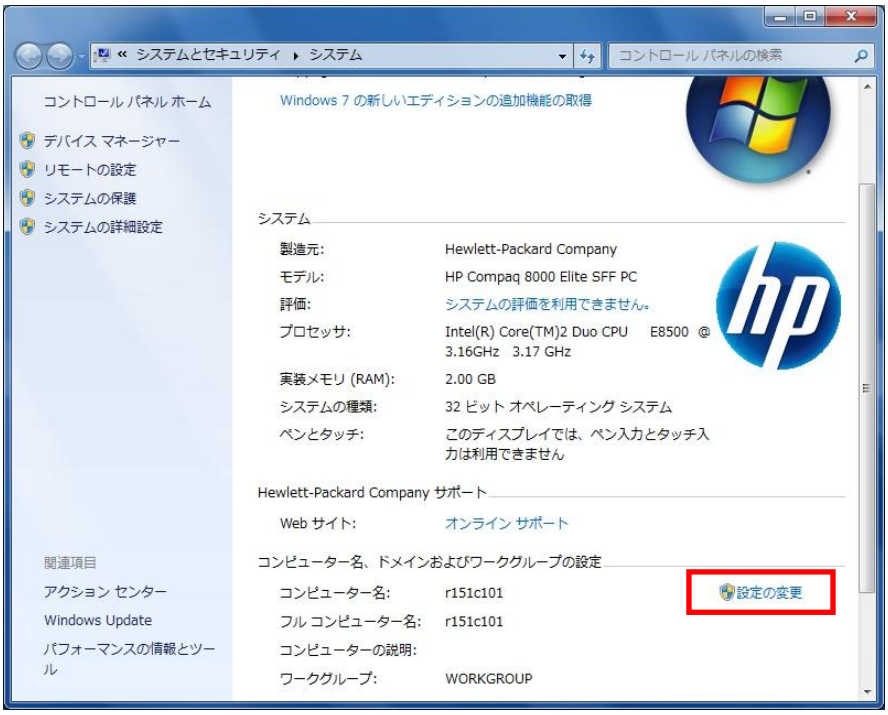
3.4. 次期ドメイン参加

次期ドメインに参加します。

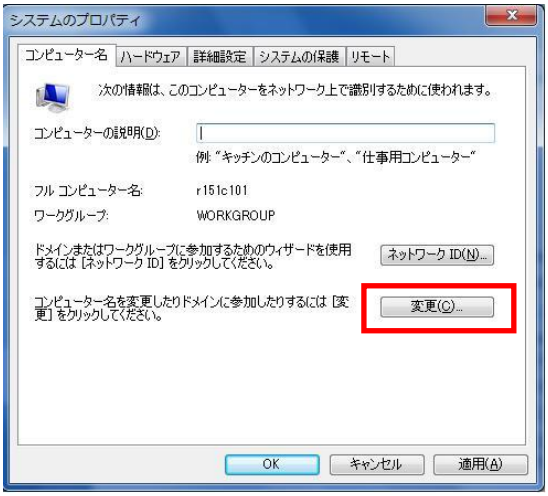
①. スタートメニューから「コンピューター」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



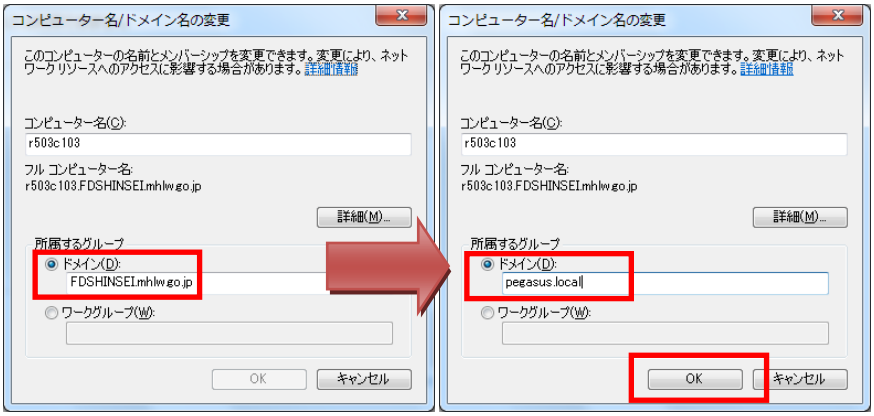
②. 「コンピューターの情報」画面が表示されるので、コンピューター名の横にある「設定の変更」をクリックします。



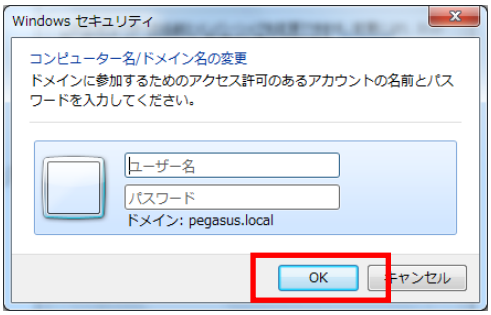
③.「システムのプロパティ」画面が表示されるので、「変更」をクリックします。



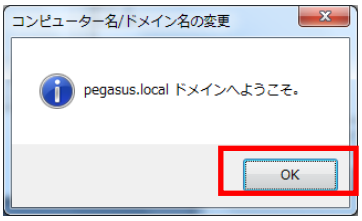
④. ドメイン名を「FDSHINSEI.mhlw.go.jp」から「pegasus.local」に変更し、「OK」をクリックします。



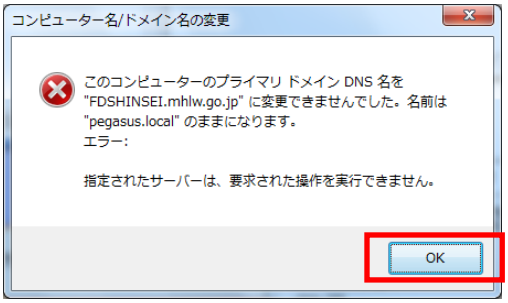
⑤. 新しく付与された次期ドメイン用のユーザ名、パスワードを入力して、「OK」を押下します。



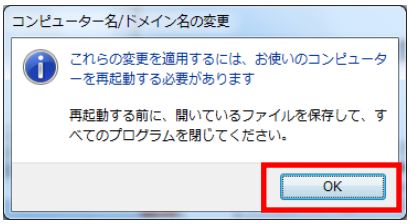
⑥. 以下の画面が表示されたら、「OK」をクリックします。



⑦. 以下の画面が表示されることがありますが、問題ありませんので「OK」をクリックします。



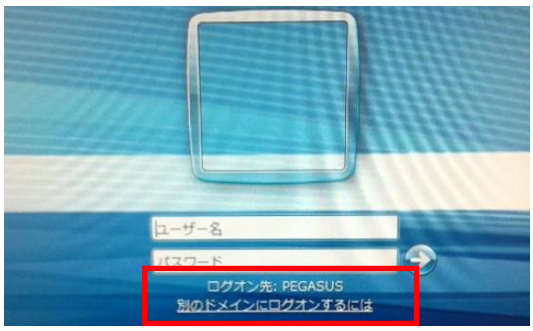
⑧. 「OK」をクリックして、コンピュータを再起動します。



4. 次期申請・審査システム疎通確認

4.1. 次期ドメインユーザのログオン

次期ドメインに参加すると、OS 起動時に以下の「ログオン先：PEGASUS」が表示されます。



新しく付与された次期ドメイン用のユーザ名、パスワードを入力して、ログオンしてください。

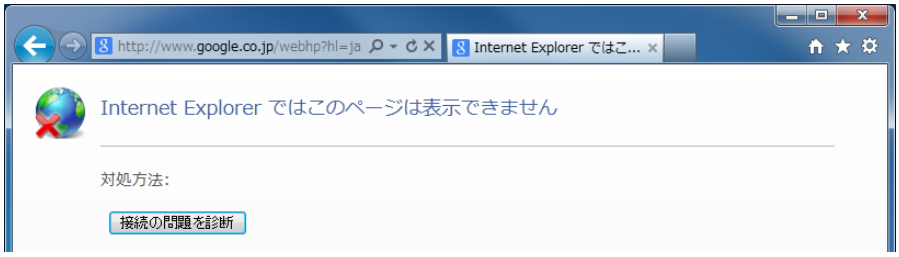
※今まで使用していた現行システムの FDSHINSEI ドメインのユーザ名、パスワードを使用したログオンは実施できなくなります。ご注意ください。

4.2. 次期申請・審査システム疎通確認

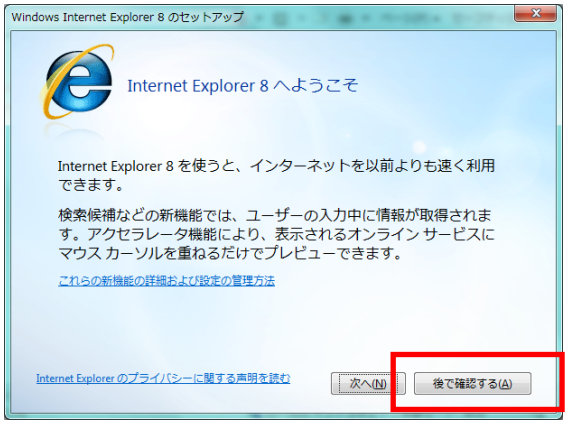
InternetExplorer の初期設定と次期申請・審査システムの疎通確認を行います。

①. Internet Explorer を起動してください。

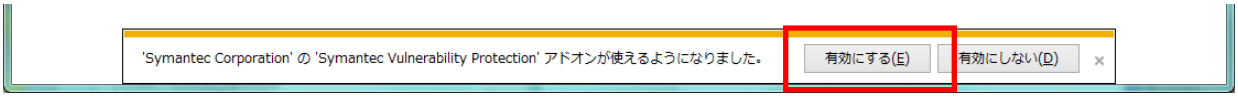
「ページは表示できません」のエラーメッセージが出力されますが、問題ありませんのでそのまま設定を続けてください。



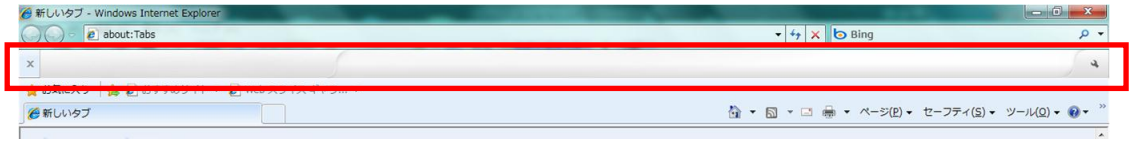
②. Internet Explorer8 のセットアップ画面が表示されたら、「後で確認する」を選択してください。



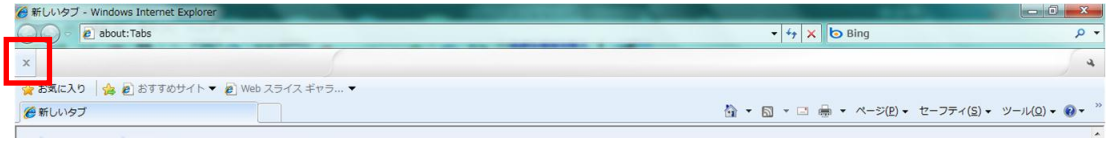
③. Internet Explorer が起動したら、以下のポップアップが表示される可能性があります。「有効にする」を選択してください。

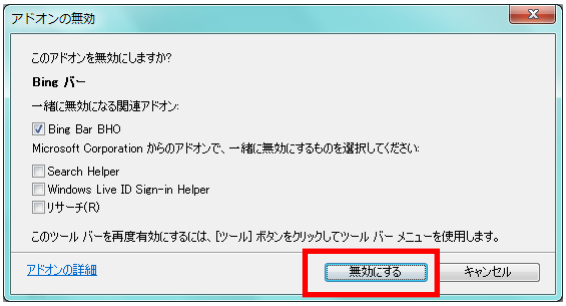


④. Internet Explorer が起動したら、以下のような Bing バーが表示される可能性があります。



⑤. Bing バーが表示されている場合「×」をクリックし、「無効にする」を選択して、バーを削除してください。

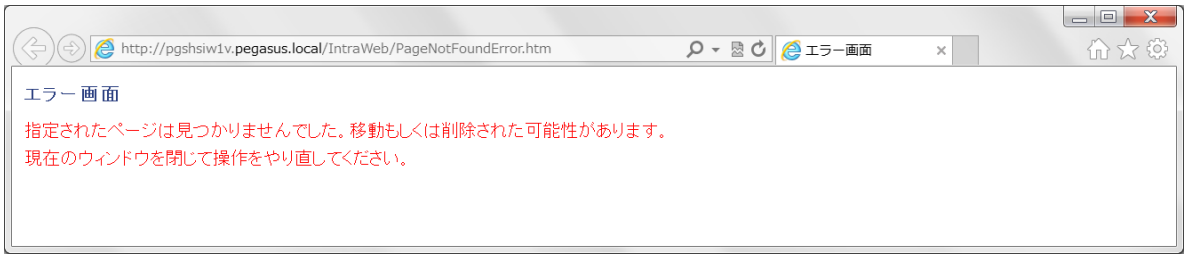




③～⑤は端末によって設定要否が異なりますが、⑥、⑦は全ての端末で実施ください。

⑥. 以下の URL をクリックするか、InternetExplorer の以下部分に URL をコピー＆貼り付けして、Enter キーを押してください。
http://pgshsiw1v.pegasus.local/IntraWeb/PageNotFoundError.htm

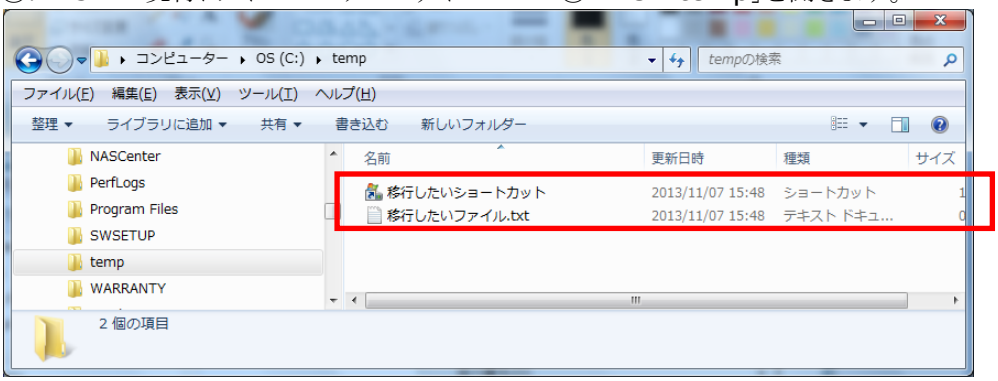
⑦. 以下が表示されれば疎通確認完了です。



4.3. 現行ドメインユーザのマイドキュメント復元

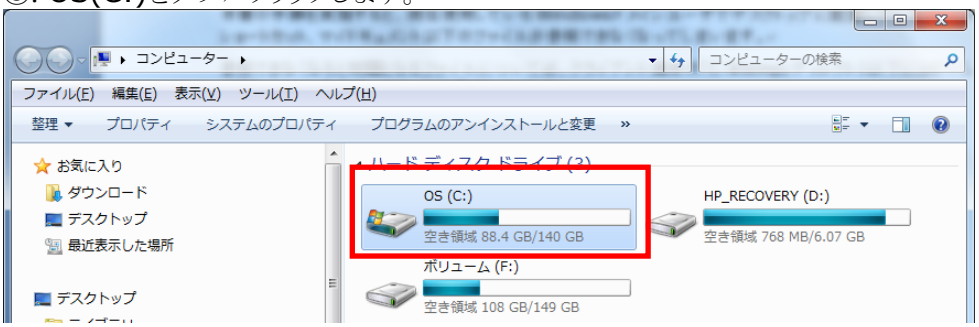
現行ドメインユーザのマイドキュメントを復元します。

①. 2.3.2. 現行ドメインユーザのファイルコピー⑤の「C:¥temp」を開きます。

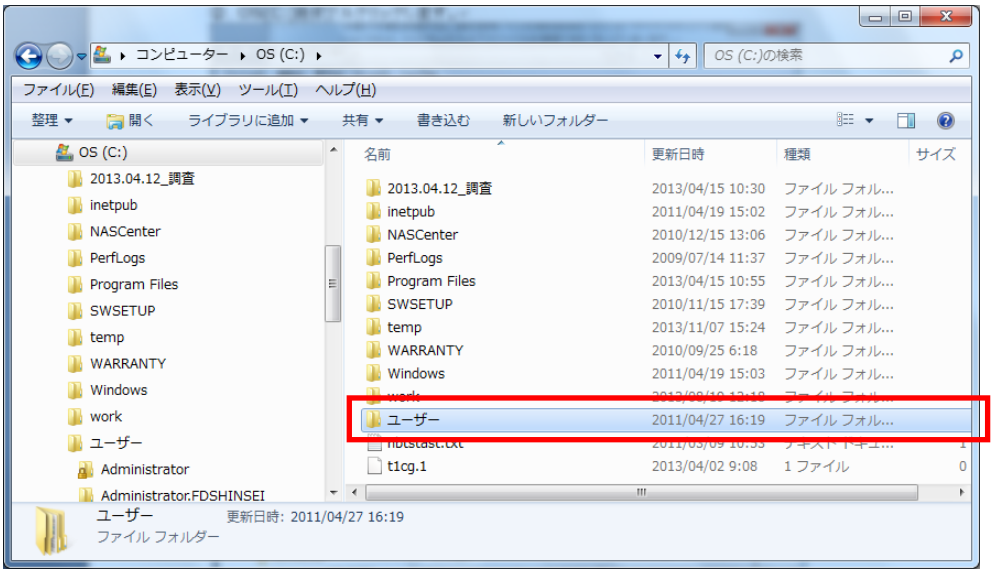


②. スタートメニューからコンピューターを開きます。

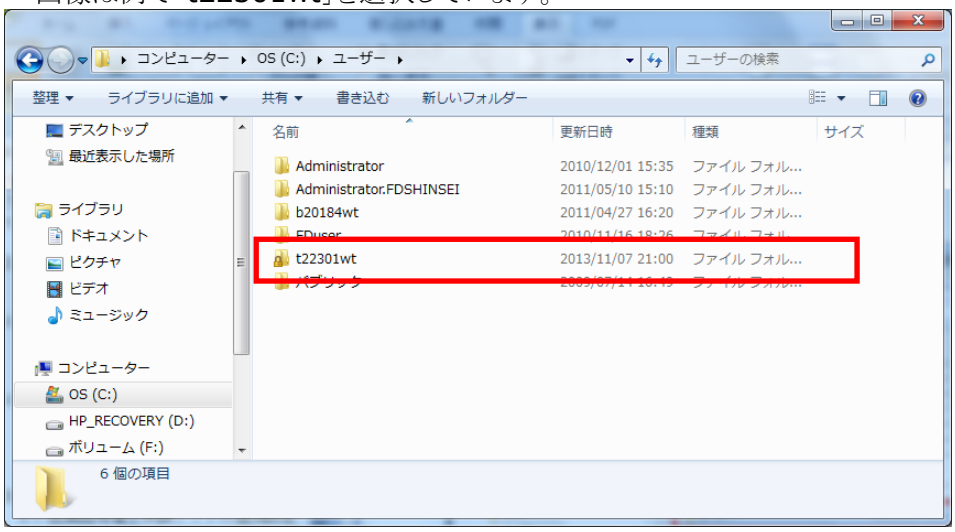
③. OS(C:)をダブルクリックします。



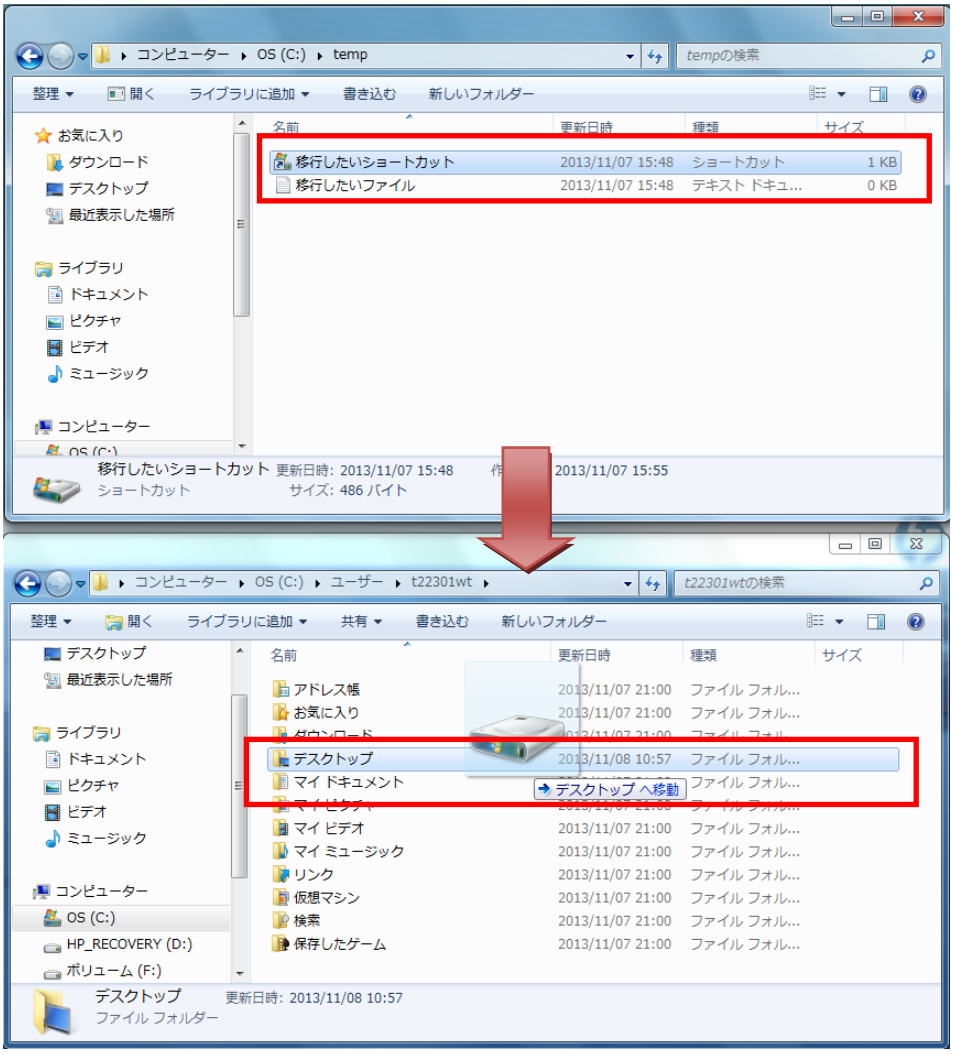
④.「ユーザー」をダブルクリックします。



⑤. 新しく付与された次期ドメインユーザを選択し、ダブルクリックします。
画像は例で「t22301wt」を選択しています。



⑥.「デスクトップ」、「マイ ドキュメント」に、「C:¥temp」のファイルをコピーします。
「C:¥temp」以下の復元したいファイルをドラッグアンドドロップで、「デスクトップ」もしくは「マイドキュメント」に移動します。画像は例です。



ファイルの移動が完了したら、復元完了です。

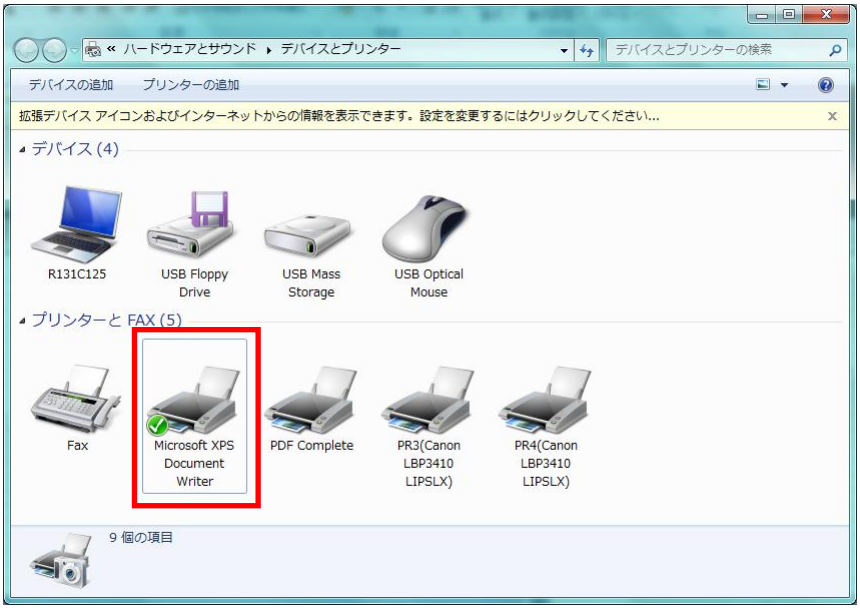
マイドキュメント、デスクトップにファイルが表示されます。

4.4. プリンター設定の確認

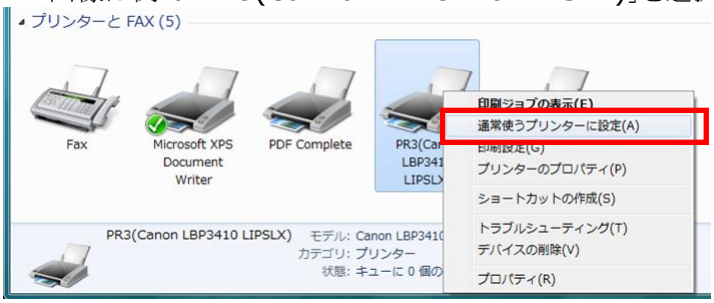
3.4 次期ドメイン参加後、プリンターの設定が初期化されてしまう可能性があります。以下の手順でプリンター設定を確認してください。

①. スタートメニューからデバイスとプリンターを開きます。

②. Microsoft XPS Document Writer に「レ」が付いている場合は、設定変更が必要です。



③. 現在使用しているプリンターを選択し、右クリックして「通常使うプリンターに設定」を選択してください。
画像は例で「PR3(Cannon LBP3410 LIPSLX)」を選択しています。



4.5. 現行システムの起動確認

次期ドメインユーザを使用した、現行システム「医薬品等・新申請審査システム」の動作確認を行います。

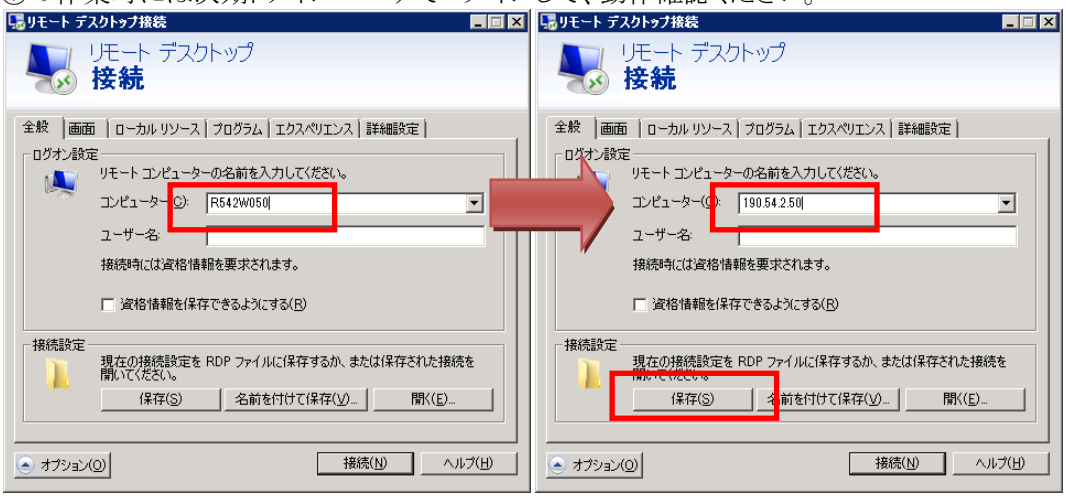
①. 3.4 次期ドメイン参加後、デスクトップにあった「医薬品等・新申請審査システム」のリモートデスクトップアイコンが動作しなくなる可能性があります。

「医薬品等・新申請審査システム」を起動するアイコンを右クリックし、「編集」を選択してください。

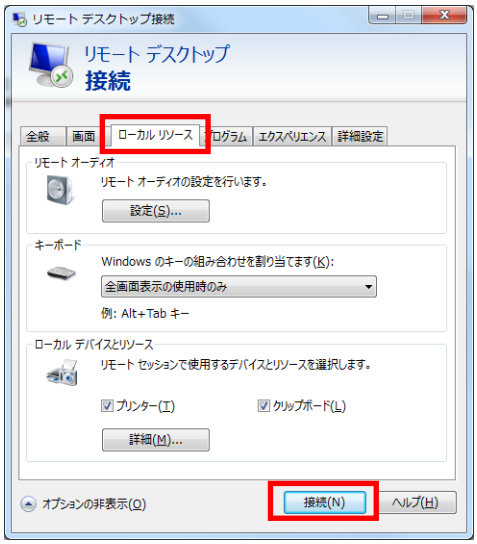
※もし、アイコンが無くなっている場合は、CD ドライブ「都道府県・本省・厚生局端末セットアップ用CD-ROM」以下、「4.5_現行システムの起動確認」にある「医薬品等・新申請審査システム.rdp」をコピーして、デスクトップに配置してください。コピーした「医薬品等・新申請審査システム.rdp」は、②～③の作業が不要です。

②. コンピューターが「R542W050」もしくは、「R542W150」になっている事を確認します。
「R542W050」の場合、「190.54.2.50」を入力し、「保存」を選択します。
「R542W150」の場合、「190.54.2.150」を入力し、「保存」を選択します。
（保存をクリックしても何も変化がありませんが、変更情報は保存されています）

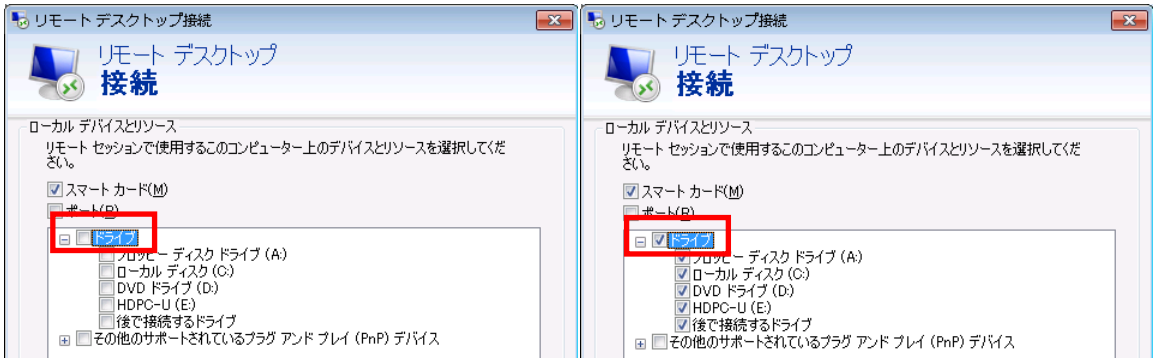
※もし、編集で保存ボタン押下時にエラーが表示されてしまう場合は、2.1 前提条件に記載している、.¥administrator ユーザで一度 Windows OS にログインしなおし、②～⑥の編集を実施してください。
⑦の作業時には次期ドメインユーザでログインして、動作確認ください。



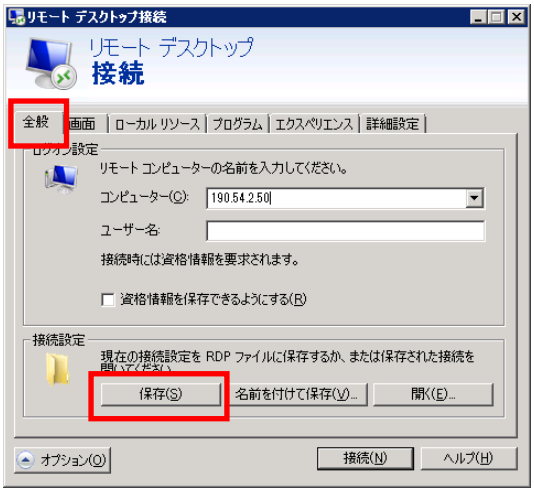
③.「ローカルリソース」のタブを選択して、「詳細」ボタンをクリックします。



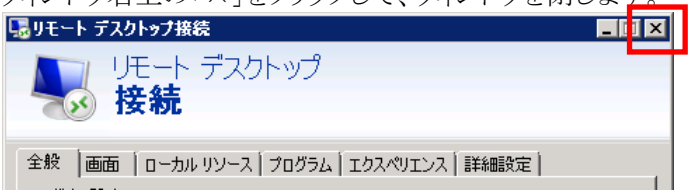
④. ドライブに「レ」チェックを入れます。
以下の画面例はドライブ左の「＋」をクリックして、ドライブの詳細表示をしていますが、「＋」をクリックしなくても問題ありません。既にドライブに「レ」が付いている場合、⑤の作業は不要です。



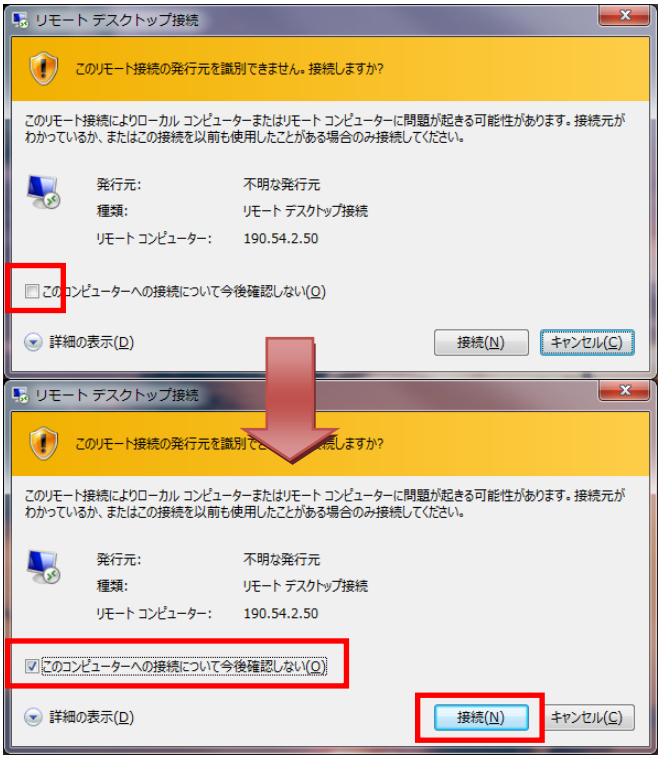
⑤.「全般」のタブを選択して、「保存」ボタンをクリックします。



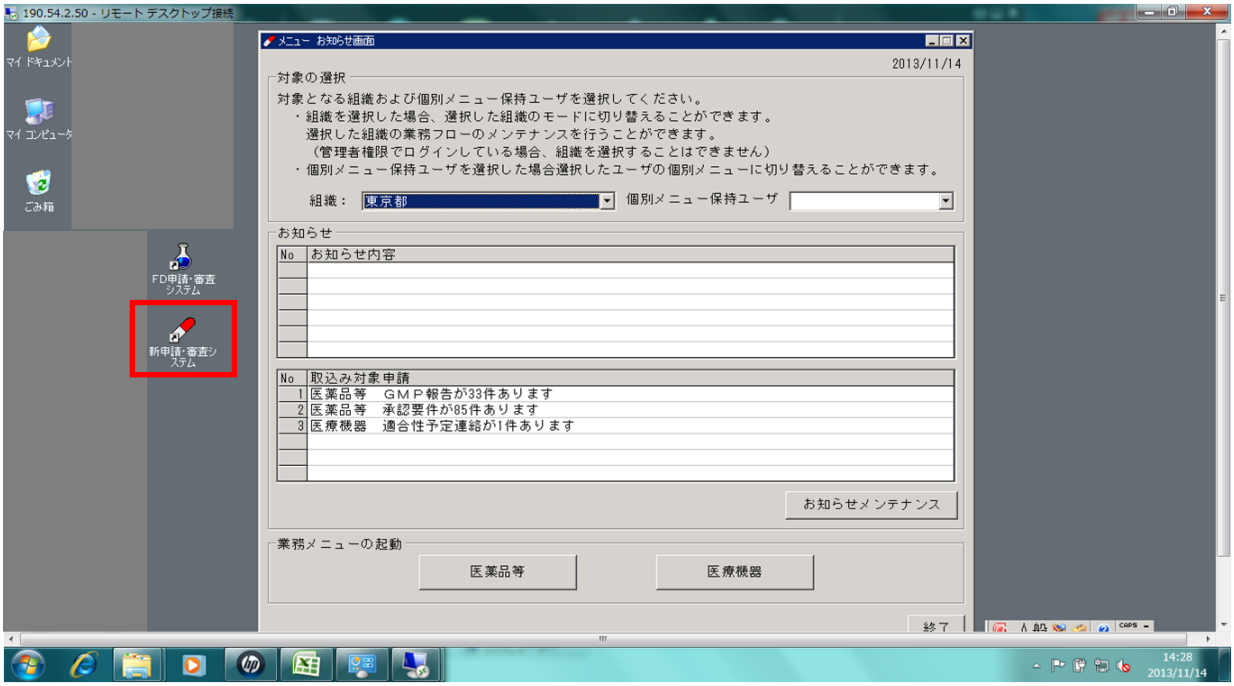
⑥. ウィンドウ右上の「×」をクリックして、ウィンドウを閉じます。



⑦. 次期ドメインユーザで端末ログオンした状態で、デスクトップにある「医薬品等・新申請審査システム」のリモートデスクトップアイコンをダブルクリックして、現行システムを起動します。
以下の画面が表示されたら、「このコンピューターへの接続について今後確認しない」に「レ」チェックを付けて、「接続」を選択します。



⑧. 現行システムで使用しているユーザでログオンし、新申請・審査システムが正常稼働する事を確認します。



4.6. 設定完了のご連絡

本書に記載の全手順が完了しましたら、お手数お掛けしますが、設定完了の旨をメールでご連絡ください。

宛先メールアドレス: yakuji-pre@ml.unisys.co.jp

メール件名：【次期システム開発】本番用の端末準備完了

メール文面：

日本ユニシス株式会社　次期申請・審査システム　端末準備担当

○○○の△△です。

本番用の端末準備が完了しました。

コンピューター名：RXXXCXXX

コンピューター名：RXXXCXXX

設定した端末のコンピューター名を全台ご記入ください。

○○○　…　拠点名をお願いします。

△△　…　ご担当されたお名前をお願いします。

RXXXCXXX　…　コンピューター名をお願いします。　例）R131C125

コンピューター名の調べ方は以下の通りです。

①. スタートメニューからコンピューターを右クリックして、プロパティを開きます。

②. コンピューター名が表示されています。